

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30 年 9 月 25 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3475000018		
法人名	有限会社 ヒサオカ		
事業所名	グループホーム いこいの里		
所在地	広島県江田島市江田島町中央1丁目20番3号 電話 0823-42-5689		
自己評価作成日	平成30年8月10日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3475000018-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3475000018-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成30年9月11日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

利用者様の状態を把握し、その時々のお思いを大切に、出来る限りその思いに応えられるように支援し、穏やかなで楽しみの有る暮らしができるように努めている。  
認知症進行予防と残存機能維持の為に、過剰な介護は行わず、出来ることを見極め、身体拘束を行う事なく、出来る事は行って頂き、生き生きとした生活が送れるように支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

入居時の聞き取りや毎日のミーティングや申し送りノート、日々の生活の中で利用者の想いや状態を把握し本人の出来る事を奪わないケアに取り組んでいる。施設の中は家庭的な雰囲気です。廊下には長椅子が設置されており、利用者同士が座って話をしたり家族とのコミュニケーションの場にもなっている。敷地内の畑では野菜を植え付けから収穫まで利用者が職員と一緒にしており、作業を楽しんでいる。職員は認知症の研修に参加し認知症の理解や対応に努めている。2か月に1度の運営推進会議では多様なメンバーの参加があり、意見交換で災害時対策の見直しを進めている。

自己評価	外部評価	項目(ユニット 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	施設理念とは別に職員理念を職員全員で決め、それを三か条に要約し、朝夕の申し送り時に唱和している。 (①個性を大切に ②人に思いやりを ③愛の有る介護を)	職員は朝夕職員理念を唱和しミーティングや日々のケアの中で利用者の想いをくみ取る努力をしている。また職員は個人の目標を持っており1年後に振り返りの評価をしている。	例えば理念の下に施設で分かり易い具体的な年間行動と目標・計画を設定し定期的に評価や記録を行い検証をすることが必要と思われます。理念の振り返りを行うことで職員の意識向上と次のステップに繋がる事が望ましいと思われます。
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	運営推進会議を通じて地域の行事への招待を頂いたり、地域のボランティア団体、小学校、保育所が定期的に訪問して下さり交流している。	地域の行事では盆踊りや花火大会に利用者と職員と一緒に参加している。運動会では直接小学校校長から招待がある。今回の災害では施設の職員が孤立した家の道路復旧に協力し地域の繋がりを大切にしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議を通じて、どのような事が出来るか助言を頂き、検討している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議では、施設状況、利用者状況、行事報告を行い、市職員、市議会議員、小学校校長、地域の方、利用者家族から意見を頂き、サービス向上に生かせるように努めている。	2か月に1度公民館で同グループの施設と合同で運営推進会議を開催している。毎回家族、行政関係、学識経験者施設関係者が近況報告や事故報告、意見交換を行っており、次回より民生委員、女性会参加が予定されている。運営推進会議で出た提案でいこい通信の写真が増えたという事例もある。	運営推進会議議事録を一部の人だけではなく、全利用者家族に送付したり施設の来訪時にいつでも閲覧できるように受付場所に置くなど情報共有することが望ましいと思われます。
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市町担当者とは日頃から連絡を取るよう努め、疑問点が生じたときには相談、助言頂き、協力関係を築くように努めている。	市町担当者とは利用者の不穏対応などのアドバイスをもらったり困りごとなどその都度相談に乗ってもらっている。職員は市の高齢者介護課主催の研修に参加するなど協力関係を築くように努めている。	

自己評価	外部評価	項目(ユニット 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p><b>○身体拘束をしないケアの実践</b></p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>施設の周りは坂道になっており、敷地も狭い為、玄関より出ると、事故になる可能性が高いため、玄関には施錠を行っている。散歩は職員が付き添っている。室内においては見守りを強化し、転倒のリスクは排除できるようにミーティングで職員全員で話し合いを行っている。</p>	<p>身体拘束について職員全体で3か月に1度ミーティングで話し合っている。身体拘束はしておらずスピーチロック（言葉による行動制限）や虐待には常に気を付け、管理者が場面ごとに注意している。帰宅願望の利用者には傾聴し嘘や曖昧な返事をしないで説明する等拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p><b>○虐待の防止の徹底</b></p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>ミーティングで職員全員で話し合いを行い、身体的虐待、言葉による虐待防止に努め、利用者様の状態を把握し、虐待の防止に努めている。</p>		
8		<p><b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b></p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>日常生活自立支援事業や成年後見制度はミーティング等で学び活用できるように支援している。</p>		
9		<p><b>○契約に関する説明と納得</b></p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の締結、解約は、契約時に説明を行い不安や疑問点についても、十分な説明を行い、理解を得るようにしている。</p>		
10	6	<p><b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b></p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者、家族の意見、要望は日頃からくみ取り、可能な事は改善するようにしている。又、家族の要望は運営推進会議でももらい、反映させている。</p>	<p>家族交流会を年に1回開催して交流を図っている。家族の面会時や電話で日頃の様子を報告しており、意見や要望については申し送りノートを活用し対応している。家族から部屋の掃除が行き届いていないとの指摘を受け、毎回職員は掃除に気を付け改善している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(ユニット 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員の意見、提案はミーティングや日々の申し送り時に収集、時に個々に聞き、代表者と相談し、反映させている。</p>	<p>朝夕の申し送りや全体ミーティング、日常の会話で話しやすい雰囲気作りに努め意見や要望を出しやすいように工夫している。職員の意見でホームページを新しく作り直したり、風通しの良い職場作りに努めたいと考えている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>管理者は、職員個々の勤務状況を把握するように努め、実績、労働時間、やる気を見極め、向上心を引き出せるように努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>管理者は職員一人一人の介護能力を把握し、外部研修を受ける機会を設けたり、同じ思いで介護できるように話し合いを行い、資格取得も奨励している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>管理者や職員は地域で行われる勉強会、研修に参加して、介護の質を向上できるように努めている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>サービス利用前の事前面接で本人、家族の要望を聞き、不安を取り除けるように十分な説明を行い安心して頂けるように努めている。</p>		

自己 評価	外部 評価	項 目( ユニット 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	サービス利用開始時の契約説明段階で、施設に対する要望を聞き、不安を解消できるように説明を行い、関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	利用開始時に、家族、本人との話の中で必要としている支援を見極め、又入所されてからの様子を観察し、支援の方法を考えている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日頃の会話の中で本人の以前の生活や最近のニュースや出来事を通じて、意見を聞いたり、対等な立場の方として対応するようにしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	本人の為に、どのような支援が必要なのかを考え、御家族の意見も聞き、協力できることはお願いしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	御家族の面会や、外出、外泊、友人の面会など行われている。面会時は表情も生き生きとされ楽しそうにされている。	入居時に本人や家族から生活歴を聞いており、日々の生活の中での会話で把握するように努めている。家族と外泊や外出をして楽しんだり、職員と一緒に買い物や利用者の自宅の近所までドライブし喜んでもらった事もある。知人や近所の方が花を持って訪ねて来たり馴染みの関係が構築できている。	

自己評価	外部評価	項目(ユニット 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係は把握し、トラブルになりそうな時には職員が間に入り、話題を変えたり、その場を離れたりして防ぎ、気の合う利用者同士は関係を見守っている		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	長期入院で退所した場合は、病院に見舞いに行き、状態を把握し、退院の際にはグループホームで対応出来る事は支援に努めている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用開始前に、本人、家族の思いや、希望を聞き、把握に努めている。困難な場合は入所後の様子を観察し、会話の中から把握するように努めている。	入居時に本人、家族から思いや意向を聞き、ミーティングノートで共有している。職員は利用者ごとの担当制を設け日々の関りの中で記録やモニタリングを行っている。意思表示の難しい利用者には動作や顔の表情で汲み取る努力をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	事前面接は可能な限り自宅で行い、日頃の生活環境、生活歴を聞き、ケアマネジャーや相談員より、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の様子観察で心身状態、残存機能、状態の変化を把握するように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目( ユニット 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	毎月、担当者がモニタリングを行い、現状を把握し、日頃の家族との話を元に、職員ミーティングで意見を出し合い、介護計画を作成している。	毎月モニタリングを行い介護計画は半年に一度見直しを行っている。家族には来訪時にご意見、ご意向を伺い、利用者には日々の会話の中から想いを聞き取るように努め介護計画を作成している。	
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子やケアの実践は個人日誌、全体日誌に記載し、介護計画の長期、短期目標の可、否を毎日記入し、介護計画の見直しの参考にしている。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b> 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	本人の状態や変化は日々観察し、家族の思い、ニーズも含めて、柔軟な支援を行うように取り組んでいる。		
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地元の小学生、保育所の園児、ボランティア団体が毎年慰問に来ている。地域との繋がりを作り、豊かな暮らしを楽しんで頂けるように取り組んでいる。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診診断</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	協力医だけでなく、本人、家族の希望に沿って主治医を決めている。往診が不可能な場合は家族に定期受診をお願いしている。緊急時は職員が付き添い受診している。	協力医療機関やかかりつけ医の受診支援をしている。緊急時には24時間対応してくれる。協力医療機関の往診があり健康管理や病気の早期発見に努めている。必要時は眼科、歯科の往診も受けることができる。	

自己評価	外部評価	項 目( ユニット 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護職員は日常の関りの中での変化、疑問点を看護職員に伝えて相談し、又、主治医にも連絡、相談を行い、必要時は受診している。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した時は、担当医やソーシャルワーカー、担当看護師と連絡を取り、情報交換を行っている。又、面会に行き、病院関係者との情報交換や退院後の相談にのってもらっている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	当施設では出来る医療行為が限られている事を契約時に説明している。重度化や終末期の在り方は、主治医に相談し家族と検討して方針を決めている。	看取りの経験はあり、希望があれば看取りをする方針であるが、重度化や終末期の時期は医療行為（24時間点滴、痰吸引等）が、限られているため主治医に意見を聴き、家族と話し合いを重ねての対応をしている。ここ1、2年看取りの希望はない。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時や事故発生時に備えて、職員はミーティングで話し合い、又消防署の救護訓練を受けている。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	火災や災害時の避難訓練は定期的に行い全職員が身に付けるようにしている。この度の大雨による災害で、地域の道路が通行止めになったが、当施設の職員も孤立したお宅の道路復旧に協力した。	夜間想定を含め年に2回災害訓練を行っている。今回の豪雨災害（7月）では断水になり水の確保が大変だったため、運営推進会議で話し合い、災害に備えて備蓄関係、マニュアルの改訂を進めている。	



自己評価	外部評価	項目(ユニット 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人一人の人格を尊重し、プライドやプライバシーを損なわないような声掛け、傾聴に努めて支援している。	排泄は、遠くから大声で誘ったり本人の自尊心を傷つけないようにその人にあつた言葉かけをしている。入浴の声掛けは、無理強いをせず拒否があるときは時間をずらすなど様子を見ながら誘っている。また、配慮のない言葉かけ等、気が付いた場合はその都度、管理者に報告し接遇に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人から希望を聞いたり、職員との会話の中から本人の思いや希望を聞き、自己決定出来るように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員の都合を優先するのではなく一人一人のペースを大切にし、本人の希望を聞き支援するようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	二か月ごとに美容院が来院され、本人の希望にそって、パーマ、染、カットと行っている。洋服は本人が選んで更衣している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事は外注食の為、メニューは決まっている。施設の畑で収穫した野菜も使っている。食事の盛り付け、後片付けなどは一緒に行っている。	食事の準備や片付け等、できることを一緒に行っている。利用者と一緒に畑で収穫した野菜を味噌汁の具にしたり、たこ焼きや月見団子を作って楽しむこともある。医療的に食べられない利用者には別メニューで提供したり、嚥下能力が落ちた利用者には、刻み食やミキサー食、お茶ゼリーの対応もできる。	

自己評価	外部評価	項目(ユニット 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<b>○栄養摂取や水分確保の支援</b>  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	外注食の為カロリー計算はされている。水分摂取量は記録しており、少ない場合はジュースや好きな飲み物、飲み物の好みの温度など工夫して支援している。		
42		<b>○口腔内の清潔保持</b>  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	夕食後に口腔ケアを行っている。毎食後に口腔ケアを行っている方もいる。本人の状態に応じて、介助している。毎食前にはうがいをしている。		
43	16	<b>○排泄の自立支援</b>  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表を記入し排泄パターンを把握して本人の訴えが無い場合は、時間を考えて声掛けを行っている。本人の動きでトイレに行きたいとの思いが解る時など行動を観察して対応している。	トイレは2か所あり1か所には男性用立位小便器も設置されている。個々の排泄状況や排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行っている。夜間も可能な限りトイレ誘導を行っており、「リハビリパンツ」から布パンツになった例もある。	
44		<b>○便秘の予防と対応</b>  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	毎日排泄チェック表を確認し、排便の有無確認している。水分量を増やしたり、朝と15時に体操を行っている。		
45	17	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b>  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	週2日の入浴を行っているが、本人の希望で当日に予定外に入浴したり、入浴拒否された場合は午後にも声かけを行ったり、翌日に入浴されたりしている。	基本は週2回の入浴だが、入浴希望があれば毎日も可能である。入浴嫌いな利用者には時間をずらしたり声掛けの工夫をしており入浴の拒否はない。利用者と職員が1対1の入浴であるため会話を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項 目( ユニット 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>一人ひとりの生活習慣や希望に よりリビングや居室で過ごされ ている。又、自分の好きな番組 を見る方は居室でテレビを見 られ、他の方と同じで良い方 はリビングでみられる。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>一人ひとりが服用している薬の 目的、副作用、用法、用量は薬 の説明書により理解している。 症状の変化は日誌により情報共 有している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>生きがいや喜びを感じてもらえ るように、一人ひとりの残存能 力に応じて役割分担して行って 貰っている。好きな食べ物は御 家族が差し入れされたり、本 人様が通販から購入したりし ている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出か けられるように支援している。</p>	<p>御家族と定期的に外出される 方もおられる。施設の畑で作 っている野菜の収穫は利用者様 が行っている。本年は豪雨災 害の為に地域のイベントが中 止になりましたが、施設の周 りの散歩は気候の良いとき には行っている。</p>	<p>春と秋には季節の花見を行い、 楽しまれている。春には車 椅子の利用者も参加され桜や サツキの花見を楽しまれ、秋 も車で外出する機会を設け ている。花火や運動会等、地 域の行事に招かれ参加する こともある。日頃、天気の良い 日は畑で作業をしたり散歩 している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一 人ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	<p>認知症の軽度の方は現金を持 たれており、通販を利用したり 、買い物に行かれています。現 金の置き場所を忘れる方は 持たれていません。</p>		

自己評価	外部評価	項目(ユニット 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>携帯電話を持っている方もおられ、自ら電話をされている。又、家族に電話をしたいと言われたら、事務所から掛けている。家族によっては電話を掛けないでと言われている方もおられる。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>リビングにソファを置きテレビを見たい時に見られたり、ソファでくつろいで過ごしておられる。リビングに利用者様の手作りカレンダーや作品、写真を貼っている。</p>	<p>テレビの前にソファを置き、家庭的な雰囲気のあるリビングは居心地が良く、ほとんどの利用者が自分の意思で日中の大半を過ごしている。訪問当日も利用者が仲良くテーブルで家族交流会の飾りつけ用（ティッシュの花）を一生懸命作っておられ、地域で頂いた明神丸の置物や利用者が作った作品が飾られている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>一人になりたいときは自室で過ごされています。気の合う方とは居室や廊下のベンチで話をされている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人が自宅で使っていた家具や身の回りの品を持ってきて居室に置いて使っておられる。本人の作品も飾っている。</p>	<p>居心地よく生活できるように居室は毎日職員が掃除を行っておりきれいに整理されている。家族の写真や思い出の品を自由に持ち込まれている。以前ミシンを持って来られ和服を洋服にリホームされたり、縫物をされていた利用者もいる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>本人の出来る事、出来ない事を把握し、排泄介助においても、自立、介助、見守り等一人ひとりに合った介助を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(ユニット 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>○理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	施設理念とは別に職員理念を職員全員で決め、それを三か条に要約し、朝、夕の申し送り時に唱和している。 (①個性を大切に ②人に思いやりを ③愛の有る介護を)		
2	2	<b>○事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	運営推進会議を通じて地域の行事への招待を頂いたり、地域のボランティア団体、小学校、保育所が定期的に訪問して下さり交流している。		
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議を通じて、どのような事が出来るか助言を頂き、検討している。		
4	3	<b>○運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議では、施設状況、利用者状況、行事報告を行い、市職員、市議会議員、小学校校長、地域の方、利用者家族から意見を頂き、サービス向上に生かせるように努めている。		
5	4	<b>○市町との連携</b> 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市町担当者とは日頃から連絡を取るよう努め、疑問点が生じたときには相談、助言頂き、協力関係を築くように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(ユニット 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	施設の周りは坂道になっており、敷地も狭い為、玄関より出ると、事故になる可能性が高いため、玄関には施錠を行っている。散歩は職員が付き添っている。室内においては見守りを強化し、転倒のリスクは排除できるようにミーティングで職員全員で話し合いを行っている。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	ミーティングで職員全員で話し合いを行い、身体的虐待、言葉による虐待防止に努め、利用者様の状態を把握し、虐待の防止に努めている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している。	日常生活自立支援事業や成年後見制度はミーティング等で学び活用できるように支援している。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の締結、解約は、契約時に説明を行い不安や疑問点についても、十分な説明を行い、理解を得るようにしている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者、家族の意見、要望は日頃からくみ取り、可能な事は改善するようにしている。又、家族の要望は運営推進会議でももらい、反映させている。		

自己評価	外部評価	項 目( ユニット 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員の意見、提案はミーティングや日々の申し送り時に収集、時に個々に聞き、代表者と相談し、反映させている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	管理者は、職員個々の勤務状況を把握するように努め、実績、労働時間、やる気を見極め、向上心を引き出せるように努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	管理者は職員一人一人の介護能力を把握し、外部研修を受ける機会を設けたり、同じ思いで介護できるように話し合いを行い、資格取得も奨励している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	管理者や職員は地域で行われる勉強会、研修に参加して、介護の質を向上できるように努めている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	サービス利用前の事前面接で本人、家族の要望を聞き、不安を取り除けるように十分な説明を行い安心して頂けるように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目( ユニット 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	サービス利用開始時の契約説明段階で、施設に対する要望を聞き、不安を解消できるように説明を行い、関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	利用開始時に、家族、本人との話の中で必要としている支援を見極め、又入所されてからの様子を観察し、支援の方法を考えている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日頃の会話の中で本人の以前の生活や最近のニュースや出来事を通じて、意見を聞いたり、対等な立場の方として対応するようにしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	本人の為に、どのような支援が必要なのかを考え、御家族の意見も聞き、協力できることはお願いしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	御家族の面会や、外出、外泊、友人の面会など行われている。面会時は表情も生き生きとされ楽しそうにされている。		



自己評価	外部評価	項 目( ユニット 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係は把握し、トラブルになりそうな時には職員が間に入り、話題を変えたり、その場を離れたりして防ぎ、気の合う利用者同士は関係を見守っている		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	長期入院で退所した場合は、病院に見舞いに行き、状態を把握し、退院の際にはグループホームで対応出来る事は支援に努めている。利用開始時に		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用開始前に、本人、家族の思いや、希望を聞き、把握に努めている。困難な場合は入所後の様子を観察し、会話の中から把握するように努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	事前面接は可能な限り自宅で行い、日頃の生活環境、生活歴を聞き、ケアマネジャーや相談員より、これまでのサービス利用の経過の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の様子観察で心身状態、残存機能、状態の変化を把握するように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目( ユニット 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>毎月、担当者がモニタリングを行い、現状を把握し、日頃の家族との話などを元に、職員ミーティングで意見を出し合い、介護計画を作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子やケアの実践は個人日誌、全体日誌に記載し、介護計画の長期、短期目標の可、否を毎日記入し、介護計画の見直しの参考にしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>本人の状態や変化は日々観察し、家族の思い、ニーズも含めて、柔軟な支援を行うように取り組んでいる</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地元の小学生、保育者の園児、ボランティア団体が毎年慰問に来てくださいます。地域との繋がりを作り、豊かな暮らしを楽しんで頂けるように取り組んでいる。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>協力医だけでなく、本人、家族の希望に沿って主治医を決めている。往診が不可能な場合は家族に定期受診をお願いしている。緊急時は職員が付き添い受診している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目( ユニット 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護職員は日常の関わりの中での変化、疑問点を看護職員に伝えて相談し、又、主治医にも連絡、相談を行い、必要時は受診している。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した時は、担当医やソーシャルワーカー、担当看護師と連絡を取り、情報交換を行っている。又、面会に行き、病院関係者との情報交換や退院後の相談にのってもらっている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	当施設では出来る医療行為が限られている事を契約時に説明している。重度化や終末期の在り方は、主治医に相談し家族と検討して方針を決めている。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時や事故発生時に備えて、職員はミーティングで話し合い、又消防署の救護訓練を受けている。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	火災や災害時の避難訓練は定期的に行い全職員が身に付けるようにしている。この度の大雨による災害で、地域の道路が通行止めになったが、当施設の職員も孤立したお宅の道路復旧に協力した。		

自己評価	外部評価	項 目( ユニット 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人一人の人格を尊重し、プライドやプライバシーを損なわないような声掛け、傾聴に努めて支援している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人から希望を聞いたり、職員との会話の中から本人の思いや希望を聞き、自己決定出来るように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員の都合を優先するのではなく一人一人のペースを大切にし、本人の希望を聞き支援するようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	二か月ごとに美容院が来院され、本人の希望にそって、パーマ、染、カットと行っている。洋服は本人が選んで更衣している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事は外注食の為、メニューは決まっている。施設の畑で収穫した野菜も使っている。食事の盛り付け、後片付けなどは一緒に行っている。		

自己評価	外部評価	項 目( ユニット 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>外注食の為カロリー計算はされている。水分摂取量は記録しており、少ない場合はジュースや好きな飲み物、飲み物の好みの温度など工夫して支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>夕食後に口腔ケアを行っている。毎食後に口腔ケアを行っている方もいる。本人の状態に応じて、介助している。毎食前にはうがいをしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄チェック表を記入し排泄パターンを把握して本人の訴えが無い場合は、時間を考えて声掛けを行っている。本人の動きでトイレに行きたいとの思いが解る時など行動を観察して対応している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>毎日排泄チェック表を確認し、排便の有無確認している。水分量を増やしたり、朝と15時に体操を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>週2日の入浴を行っているが、本人の希望で当日に予定外に入浴したり、入浴拒否された場合は午後にも声かけを行ったり、翌日に入浴されたりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目( ユニット 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	一人ひとりの生活習慣や希望に よりリビングや居室で過ごされ ている。又、自分の好きな番組 を見る方は居室でテレビを見 られ、他の方と同じで良い方 はリビングでみられる。		
47		○服薬支援  一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	一人ひとりが服用している薬の 目的、副作用、用法、用量は薬 の説明書により理解している。 症状の変化は日誌により情報 共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	生きがいや喜びを感じてもらえ るように、一人ひとりの残存能 力に応じて役割分担して行って 貰っている。好きな食べ物は御 家族が差し入れされたり、本 人様が通販から購入したりし ている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出か けられるように支援している。	御家族と定期的に外出される 方もおられる。施設の畑で作 っている野菜の収穫は利用者様 が行っている。本年は豪雨災害 の為に地域のイベントが中止 になりましたが、施設の周りの 散歩は気候の良いときには行 っている。		
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように 支援している。	認知症の軽度の方は現金を持 たれており、通販を利用したり 、買い物に行かれています。現 金の置き場所を忘れる方は持 たれていません。		

自己評価	外部評価	項 目( ユニット 2 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	携帯電話を持っている方もおられ、自ら電話をされている。又、家族に電話をしたいと言われたら、事務所から掛けている。家族によっては電話を掛けないでと言われている方もおられる。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	リビングにソファを置きテレビを見たい時に見られたり、ソファでくつろいで過ごしておられる。リビングに利用者様の手作りカレンダーや作品、写真を貼っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	一人になりたいときは自室で過ごされています。気の合う方とは居室や廊下のベンチで話をされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人が自宅で使っていた家具や身の回りの品を持ってきて居室に置いて使っておられる。本人の作品も飾っている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	本人の出来る事、出来ない事を把握し、排泄介助においても、自立、介助、見守り等一人ひとりに合った介助を行っている。		

V アウトカム項目( ユニット 1 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない



64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V アウトカム項目( ユニット 2 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームいこいの里

作成日 平成30年10月15日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	施設として理念のもとでの具体的な年間目標を作成していない	施設として理念のもと具体的な目標を立てる	理念のもと具体的な解りやすい、年間目標を立て、半年ごとに検証し、次に繋げていく	1年
2	2 6	毎月モニタリングを行い、半年ごとに介護計画の見直しを職員ミーティングで話し合っているが、再アセスメントとしての記録は残していない	半年ごとにアセスメントの記録を残す	職員ミーティングで話し合った記録は残しているが、別にアセスメントの記録を残す	3ヶ月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。